

7. 新水路下流部の背水区間

新水路下流部の十勝川本川合流部付近における水位の測定結果を図7-1に示す。

水位は夏期に高く、冬期に低下する傾向がみられる。H9年以降は新水路合流部付近の本川河床が上昇したために、水位が相対的に上昇している。

ここで、H9年夏期以降のサケ捕獲期(9月～12月)と、捕獲期以外(1月～8月)に生じる水位を把握し、新水路を開削した後はこの水位と同じ高さまで湛水するとして、その背水区間を求めると表7-1及び図7-2となる。

表7-1 新水路背水区間の変動範囲[H9.9.1～H13.6.26]

年	水位の変動状況(TP.m)		背水区間の末端	
	9月～12月	1月～8月	9月～12月	1月～8月
最大水位	15.39	16.02	45K	45K
10%超過	13.16	13.26	43.53K	43.62K
20%超過	12.77	12.96	43.19K	43.39K
30%超過	12.59	12.82	43.05K	43.24K
40%超過	12.47	12.70	42.90K	43.14K
50%超過	12.40	12.56	42.85K	43.06K
60%超過	12.33	12.43	42.79K	42.89K
70%超過	12.27	12.31	42.73K	42.77K
80%超過	12.23	12.18	42.68K	42.63K
90%超過	12.18	12.12	42.63K	42.57K
最低水位	12.07	11.97	42.52K	42.43K

(注)：9月～12月はサケ捕獲期

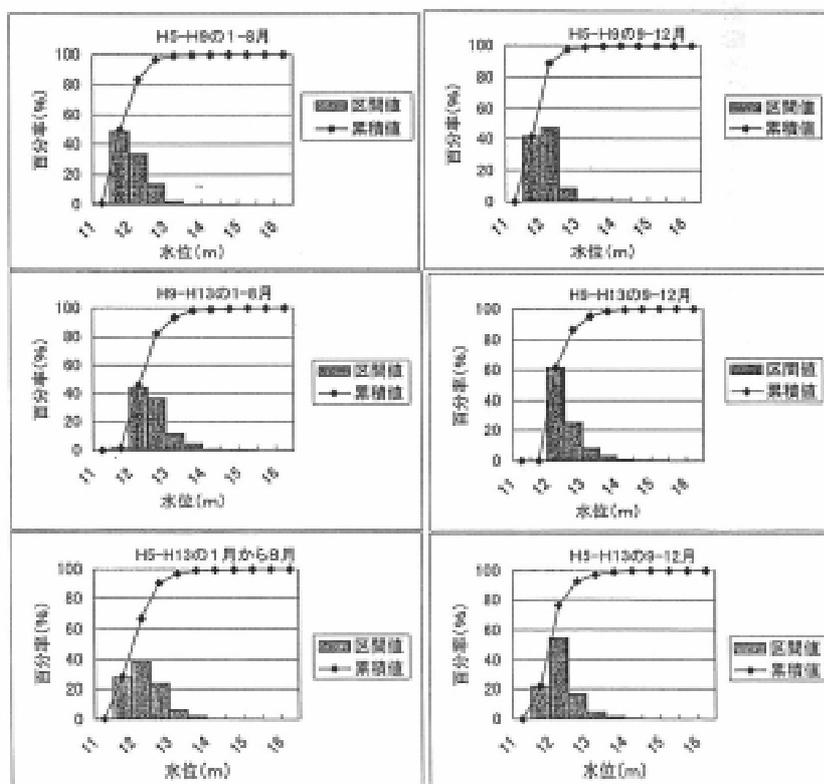


図7-1 新水路下流部の水位変化(平成5年～平成13年)

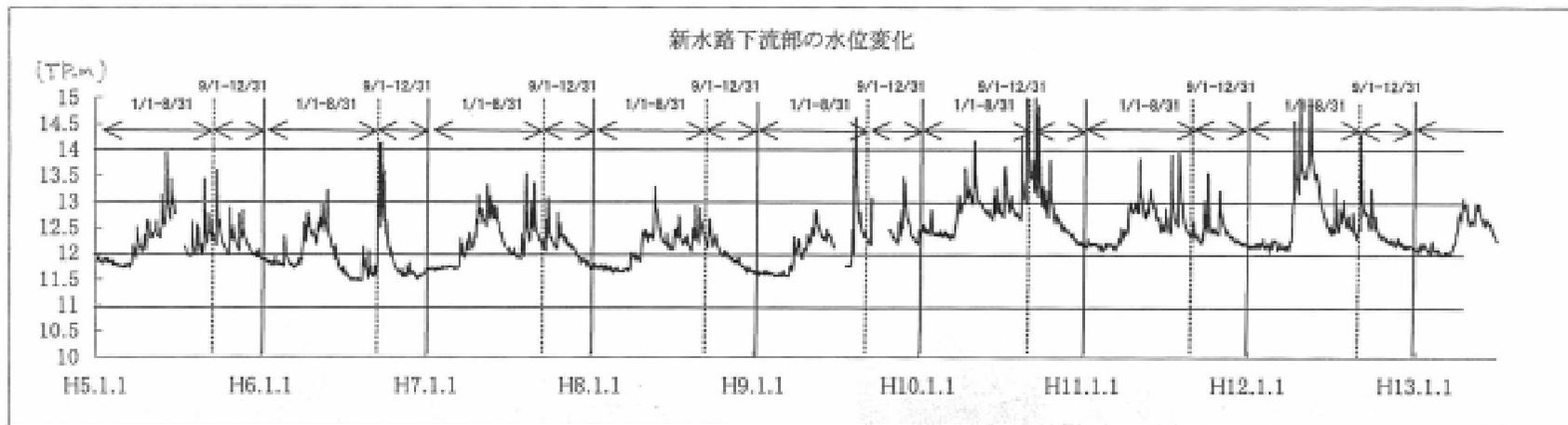


図7-2 新水路下流部の水位変化(平成5年～平成13年)

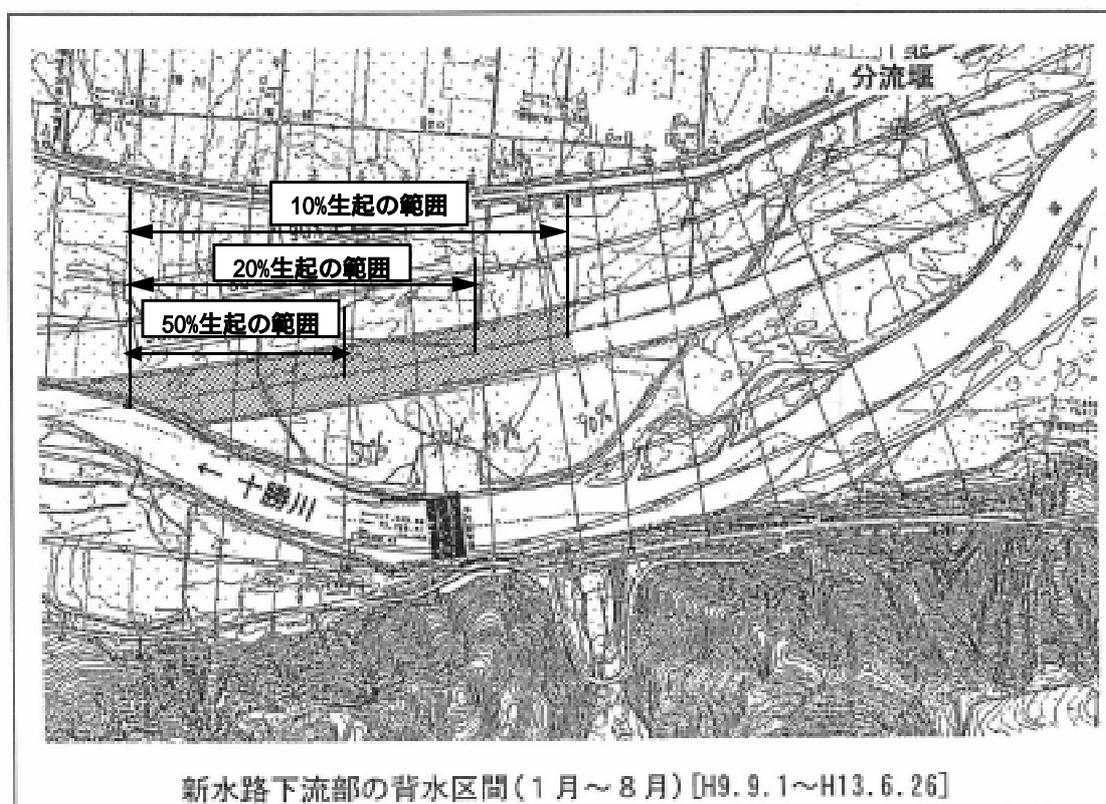
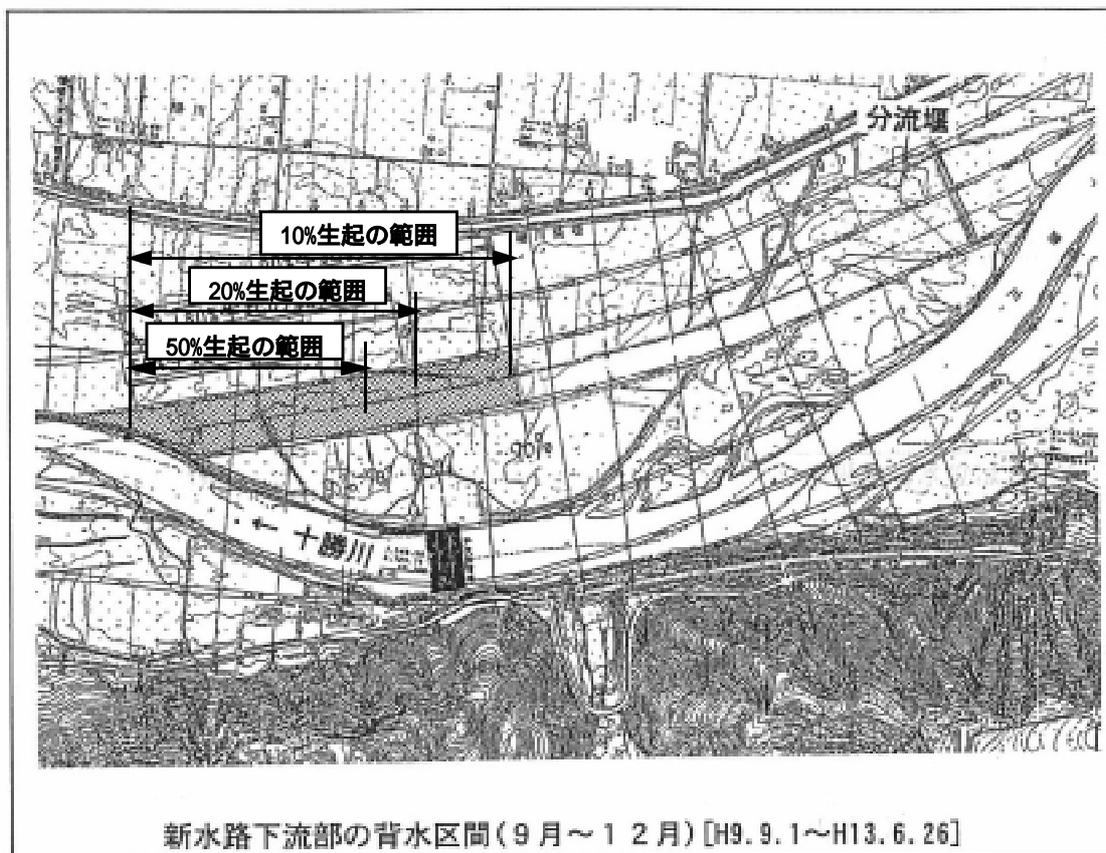


図7-3 新水路下流部の背水区間